



福島ユナイテッドFC

福島まつかわ農スポ事業体験イベント 1/2

地元の福島大学(地域スポーツ政策研究所)が取り組む研究の一つとして、「農業とスポーツ」を組み合わせることによる新たな価値の創出及び地域活性化につながる可能性について、「農スポイベント」として、地域の子供たちを対象にサッカー教室と農業体験を行った。



活動場所 飯野地区体育館、安斎果樹園



協働者

企業、住民、学校、協議会

協働者名

福島まつかわ農スポ協議会、
 福島大学地域スポーツ政策研究所、
 松川町サッカースポーツ少年団、安斎果樹園



協働者の声 福島大学地域スポーツ政策研究所/所長 蓮沼 哲哉 氏

本研究所では「農業×スポーツ」の可能性を研究している。農業から波及する問題は、地域の人口減少、コミュニティの崩壊など多岐にわたる。福島ユナイテッドの活動は、トップスポーツが農業に関わり地域の課題解決に繋がる取り組みである。今回のイベントはまさに農業による地域のコミュニティ再形成となる取り組みができた。



活動詳細情報

1

[福島大学HP](#)

2

[公式サイト](#)

カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ

2

気候をゼロに



4

質の高い教育をみんなに



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任 つかう責任





福島ユナイテッドFC

福島まつかわ農スポ事業体験イベント 2/2

Story

当クラブでは、福島の農作物や県産品の魅力発信を目的に、地域の農家さん、生産者さんの協力を得て「農業部」活動に取り組んでいます。

今回、地元の福島大学地域スポーツ政策研究所さまより「農業×スポーツ」で生まれる地域の活性化、新たな価値の創出の可能性について、農業を行うプロスポーツチームと連携したいとお声がけいただきました。

今回のイベントでは、大学のある福島市松川町の少年サッカーチームを対象に、福島ユナイテッドFCとの交流、サッカー教室指導による技術向上は基より、その参加した子どもたちが農業体験をすること



から福島の農作物について知ること、そして、サッカーのトップチームがサッカーだけではなく、農業という活動を通して地域とのつながり、福島のPR活動など社会貢献活動を行っていることを知ってほしい、ということを目的に開催いたしました。農業体験では、日頃よりご協力いただいている安齋果樹園さまご指導のもと、りんごの収穫作業を行い、農業や福島の農作物に対する理解を深めることができました。幼い頃から地元の農作物に触れることは、ただ作業を体験することだけではなく、農家さんからのお話やプロスポーツチームが農業に取り組む姿を通して「スポーツ」「農業」への理解、普段の生活で切り離すことのできない「食」という部分でも改めてその大切さを知るきっかけになったと思います。

参加したお子さんからは「りんごが重くて運ぶのが大変だったけど、終わった後に食べたりんごが最高でした」など農業の大変さを感じつつ、福島のりんごの美味しさを味わっていました。

「農業×スポーツ」の可能性については、クラブとしても農業部活動を継続していくとともに、今後も



様々な地域の方と交流する機会を創っていきたいと感じました。

今回このような機会を創ってくださった、農スポ協議会様、福島大学様、ご協力いただきました安齋果樹園様に心より御礼申し上げます。